

## JICA2016 年度課題別研修「地域開発計画管理」コースを受け入れました

平成28年10月11日から11月25日にかけて、アルゼンチン、ブータン、コートジボワール、コソボ、ミャンマー、トーゴ、ザンビアの7カ国から10名の行政官を本コースの研修員として受け入れました。

本研修は、北海道総合開発の手法を参考として、参加者が自国の地域開発の計画管理・運営等の技術を習得することを目的としており、北海道開発局は、北海道総合開発の体制や当局が実施する事業、自治体等が進める地域開発事例に関する講義や、インフラ整備・産業開発事例等の現地視察を組み合わせた研修プログラムを提案し、研修員たちが多くの成果を得られるよう、協力しました。

### 【開発局長表敬訪問】



10月11日、来日間もない研修員たちが北海道開発局を訪れ、局長を表敬訪問しました。局長から歓迎のご挨拶を申し上げ、各研修員からは本研修への抱負が語られました。この訪問のために何人かの研修員は民族衣装を着てくれました。

### 【講義の様子】



北海道総合開発計画の体制についての講義



ディスカッション

講義は、高等教育機関や地方自治体、政府関係機関等から講師を招いて実施し、北海道開発局からも複数の職員が講師を務めました。研修テーマに沿って、ディスカッションも開催し、研修内容を振り返り、自国で活かす可能性を検討しました。このディスカッションにはコースリーダーである東海大学国際文化学部長の平木先生にご出席いただき、全ての研修員が参加する活発な議論をリードしていただきました。

## 【視察】



道の駅「230 ルスツ」



るすつ子どもセンターぽっけ

各地の視察の様子です。道の駅について事前に講義を実施していたため、「230 ルスツ」で実際に農産品が売られている様子を興味深そうに研修員が見ています。留寿都村ではふるさと納税事業の概要についてお話しいただいた他、少子化対策に取り組む同村の「るすつ子どもセンターぽっけ」を見学させていただきました。



池田町ワイン城見学



アグリツーリズム体験

道東道の整備効果や北海道の食と観光に関する取組を学ぶため十勝地方を訪れました。池田町ワイン城の見学では、町が取り組むワイン研究や、ワイン祭りを盛り上げる観光協会の様々な工夫をお話しいただきました。その他、アグリツーリズム体験では、株式会社いただきますカンパニーにご協力をいただき、長芋掘りを体験し、生産者と消費者を繋ぐ同社の取り組みを伺ったほか、協力農家の方からアグリツーリズムに対する思いをお話しいただきました。

本研修では、それぞれの研修員が、コースリーダーや北海道開発局職員、JICA職員からアドバイスを受けながら、自国が抱える問題を解決するために本研修で学んだ地域開発の手法をどう活かしていくかを考え、今後の彼らの行動計画を「アクションプラン」としてまとめます。

研修終盤には、彼らが考えたアクションプランの発表会が開催されました。発表されたそれぞれのアクションプランに対して、研修関係者、研修員同士の意見交換が行われました。





## 【閉講式】



北海道開発局開発監理部次長挨拶



修了証書授与

アクションプラン発表会の翌日、2ヶ月近く続いた研修の閉講式が行われました。北海道開発局からは開発監理部次長が閉講式に出席し、ご挨拶申し上げます。各研修員にはJICA北海道所長より修了証書が授与されました。



研修員代表としてザンビアから参加した研修員のスピーチがあり、本研修の感想や、今後の業務に本研修を活かす意気込みが語られました。

閉講式の最後には、研修員たちから研修関係者にカードのプレゼントがあり、長期にわたる研修への協力に対する感謝を伝えてくれました。

本研修の成果が研修員の母国の発展に寄与するとともに、研修期間中に築かれた日本や各参加国との友情が今後も続いていくことが期待されます。

